

# 令和5年度 今年度における主な取組

長柄町立長柄小学校

- 1 実施日時 令和6年3月19日（火） 午後5時30分～
- 2 場 所 長柄小学校 校長室
- 3 出席者 学校関係者評価委員（7名：評議員3 PTA顧問1 会長1 副会長2）  
※学校評議員1名欠席、校長・教頭同席
- 4 内 容

	学校としての取組	取組の具体
I * 学習・行事等 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいさつ指導の徹底・励行</li> <li>○ 家庭学習の習慣化</li> <li>○ カリキュラム・マネジメントを通して、日常の授業の中でのICT機器の活用と新しい学びへの取組</li> <li>○ 学習支援員の活用</li> <li>○ 学校図書館司書の活用</li> <li>○ 特別支援アドバイザー要請</li> <li>○ 行事の精選や縮小</li> <li>○ 豊かな体験学習の実施・工夫</li> <li>○ 出席停止の児童の学習の補償</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登旗、児童会のあいさつ運動</li> <li>○ 家庭学習カード 家庭学習表彰等</li> <li>○ 校内研修での研究授業実践 評価改善</li> <li>○ タブレット、電子黒板を活用した教え合い、伝え合いの活動のある授業展開</li> <li>○ 町学習支援員を柔軟かつ適切に配置、支援</li> <li>○ 読み聞かせや図書館利用の活性化</li> <li>○ 東上総教育事務所より派遣</li> <li>○ 行事の実施検討、方法の工夫</li> <li>○ 地域人材との連携、協力</li> <li>○ ICT機器によるリモートの活用</li> </ul>
	評 価	対 応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童は心優しく、規律を守り、学習できるが、自ら探求する学習や発展的な学習に意欲に欠ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童において個別最適な学習段階で学べるプリントを準備する。</li> <li>・ 地域人材を活用し、出前授業や行事等を行う。</li> </ul>
II * 安全・安心等 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生活アンケートの実施</li> <li>○ いじめ・悩み相談の実施</li> <li>○ スクールカウンセラーの有効活用</li> <li>○ 児童の安全な学校生活確保</li> <li>○ 登下校指導の励行</li> <li>○ 登校時の交通安全指導</li> <li>○ 地域安全マップの作成</li> <li>○ 防災に対する危機管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学期ごとに実施(学期比較)</li> <li>○ アンケート結果を受けて児童との面談</li> <li>○ 定例の月1回以外にも依頼</li> <li>○ 避難訓練の実施</li> <li>○ 地震、火災、不審者対策</li> <li>○ 児童の登下校における見守り活動</li> <li>○ 登下校時の交通安全指導（管理職）</li> <li>○ 3年生の地域学習 2年生への発表</li> <li>○ 児童引き渡し 食料・飲料の備蓄</li> </ul>
	評 価	対 応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクールガードや学校管理職等による登下校の交通安全指導は機能している。しかし少子化に伴い、登校班の編制が困難であり、保護者の協力が必要である。</li> <li>・ 荒天時における登下校の安全確保が難しい。</li> <li>・ 路線バスの減便による影響が出ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方々や保護者へ登下校の見守り活動等を依頼する。</li> <li>・ 町による路線バス業者への嘆願書の提出を希望する。</li> </ul>

Ⅲ * 学校 P T A ・ 地域 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な学習活動での支援</li> <li>○ 読み聞かせ活動の再開</li> <li>○ 奉仕作業（年2回）・リサイクル活動（8月まで）への協力</li> <li>○ P T Aのベルマークおよび特別会計による備品等充実</li> <li>○ P T A家庭教育学級（作品製作・給食試食会）</li> <li>○ 創立150周年記念式典の挙</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊かな体験活動や校外学習、学校行事</li> <li>○ 学期末読み聞かせ会の実施</li> <li>○ 通年で地域住民が協力・支援</li> <li>○ 児童が遊べたり、部活動で使えたりするような物品購入</li> </ul>
	評 価	対 応
	・ 少子化により現状のP T A活動の維持が困難である。	・ 町や町内の各小中学校と連携し、活動内容の精選に努める。
Ⅳ * 評価 学校 経営 改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校評価の実施</li> <li>○ 学校関係者評価の実施</li> <li>○ 町教委への点検・評価報告</li> <li>○ 教育目標・教育計画</li> <li>○ P D C Aサイクルの実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アンケート調査（児童、保護者、教職員） 評価結果の分析・公表（HP） 1・2学期変容・比較</li> <li>○ 評価結果に対する評価（年1回）</li> <li>○ 町教委独自の目標に対し評価をし報告</li> <li>○ 評価結果をもとに次年度に向けた構想</li> <li>○ 計画、実行、確認・評価、改善・行動</li> </ul>
	評 価	対 応
	・ 諸課題の対応策を関係団体や地域の方々と協力し、改善を行っていくことが望ましい。	・ 次年度から導入予定である「コミュニティ・スクール」を活用し、関係団体や地域の方々と協力し、学校運営に当たる。
学校 関係 者 感想	<p>・ いただいた御意見を学校全体で共有し、改善に努めていきたいと思ひます。御多用の中、御参会いただきまして、ありがとうございました。</p>	